



千葉市基本計画 第2次実施計画（案）の概要

令和8年2月



千葉開府900年

計画の総論

- 1 第2次実施計画について
 1. 計画の位置づけ
 2. 計画期間
- 2 計画の枠組み
 1. 人口の見通し
 2. 財政の状況と計画事業費
- 3 計画の基本的な考え方
 1. 策定の視点
 2. 計画事業の選定
 3. まちづくりの総合8分野における政策体系
- 4 計画の推進にあたって

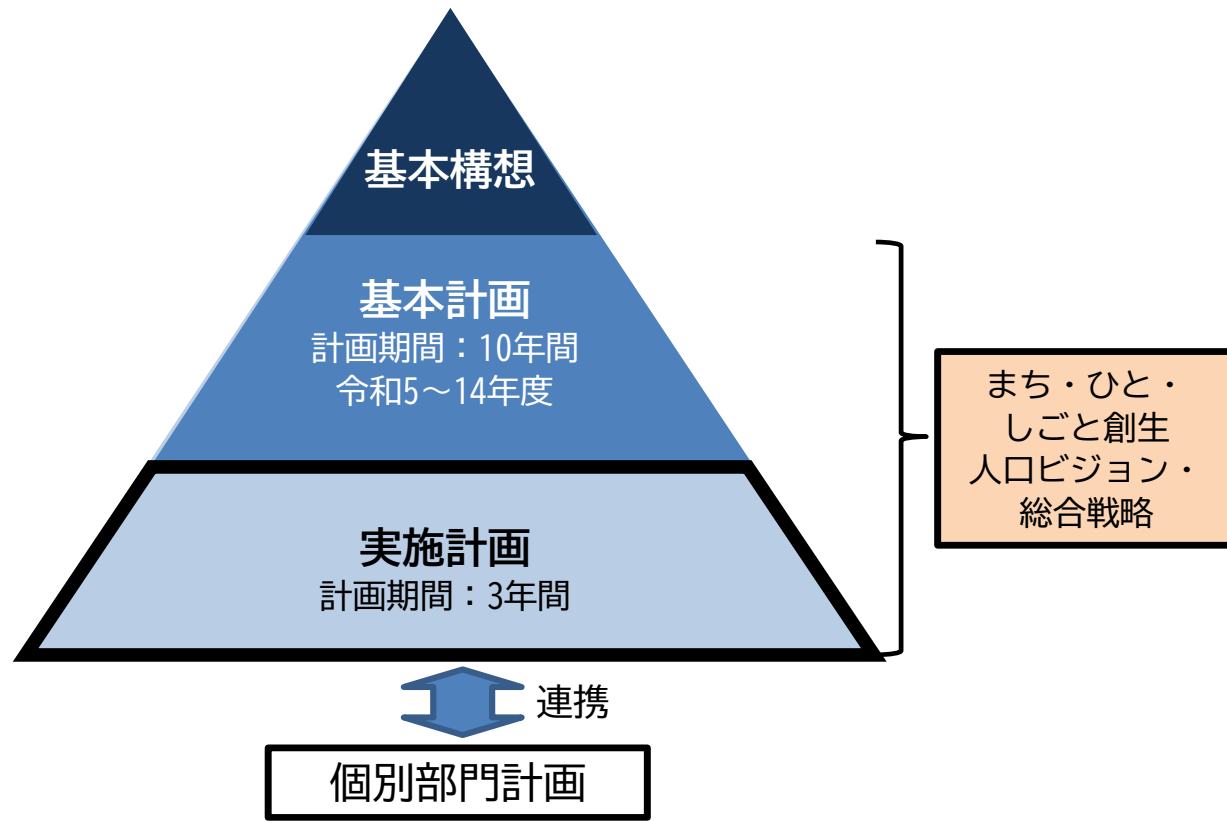
計画の各論

- 1 環境・自然
- 2 安全・安心
- 3 健康・福祉
- 4 子ども・教育
- 5 地域社会
- 6 文化芸術・スポーツ
- 7 都市・交通
- 8 地域経済

1 計画の総論-実施計画の位置づけ・計画期間

- 市の総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成
- 基本計画は、基本構想の実現に向け、まちづくりの方向性や今後の施策展開を提示
- **実施計画**は、基本計画に基づく**具体的な事業を提示**

【千葉市総合計画の計画体系】



基本構想

市政運営の指針として、恒久的な都市づくりの基本理念・基本目標、望ましい都市の姿を示す

【基本理念】人間尊重・市民生活優先

【基本目標】人とまち いきいきと幸せに輝く都市

基本計画

基本構想を実現するため、まちづくりの方向性などを示す基本方針や今後の施策展開を示す

【計画期間】2023～2032年度（10年間）

実施計画

基本計画に基づく具体的な事業を提示

【第1次実施計画】2023～2025年度（3年間）

【第2次実施計画】2026～2028年度（3年間）

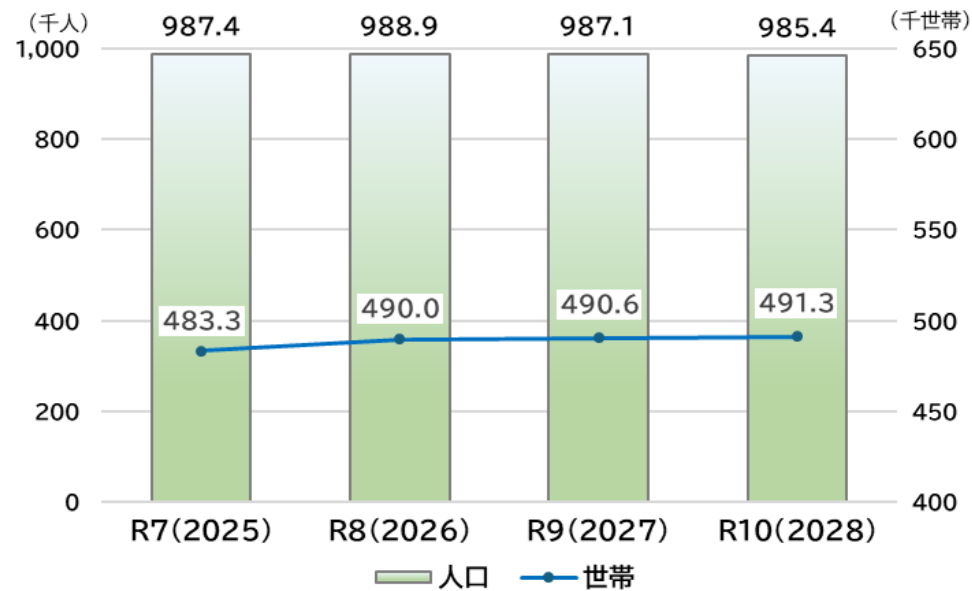
◆まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略

目指すべき人口の将来展望とその達成に向けた取組みを示す（2023年から総合計画と統合）

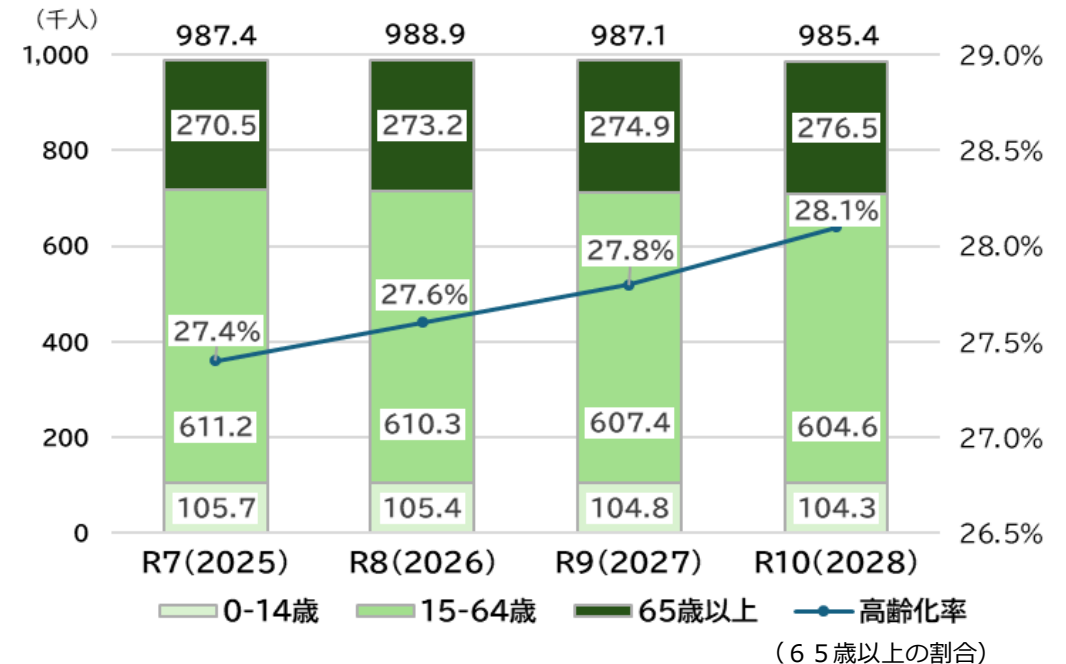
1 計画の総論-計画の枠組み（人口の見通し）

- 千葉市の総人口は、2020年代後半には減少に転ずる見通し
- 年齢3区分別人口は令和10年度（2028年度）までに65歳以上の人口が約6,000人増加する見通し

市の将来人口推計・世帯数



年齢3区分別人口及び高齢化率



1 計画の総論-計画の枠組み(人口の見通し(区別))

- ▶ 行政区別人口は、中央区は増加、緑区は横ばい、花見川区、稲毛区、若葉区、美浜区では逡減

市の将来人口推計

(単位：人)

区 分	市全体	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑 区	美浜区
令和 7 年	987,400	221,200	177,300	160,800	144,200	128,200	155,700
令和 8 年	988,900	223,000	177,400	160,600	143,600	127,900	156,400
令和 9 年	987,100	223,500	176,800	160,100	142,500	128,000	156,200
令和 10 年	985,400	224,000	176,200	159,600	141,500	128,100	156,000

1 計画の総論-計画の枠組み(財政の状況と計画事業費)

<財政の状況>

- 平成21年度（2009年度）に「脱・財政危機」宣言を発出した後、3期に渡る財政健全化プラン（2010～2021年度）に基づき財政健全化に取り組み、その結果、財政状況が改善したことなどから、危機的状況を脱したと判断し、平成29年（2017年）に「脱・財政危機」宣言を解除。
- 令和3年度(2021年度)に策定した中期財政運営方針（対象期間：令和4～7年度〔2022～2025年度〕）に基づき、健全性を維持した財政運営に取り組んできたが、物価高騰や金利の上昇など、本市を取り巻く環境が大きく変化。
- このような状況にあっても、令和7年度（2025年度）に策定予定の現中期財政運営方針の後継となる財政計画のもと、市民生活の向上や本市の発展につながる「千葉市ならではの」施策を力強く進め、「選ばれる」都市を目指すとともに、社会経済情勢の変化にも対応できるよう、将来にわたり持続可能な財政構造の確立を目指す。

<計画事業費> 第2次実施計画全体の計画事業費は、1,192億円を見込む。
(単位：億円)

区分	計画事業費
普通会計	9 5 9
普通会計外	2 3 3
総 額	1, 1 9 2

1 計画の総論-計画の基本的な考え方（計画事業の選定）

第1次実施計画の成果や課題、計画期間中に開府900年の節目を迎えることを踏まえ、本市の特性を活かした更なる取組みを進める計画として、事業を立案・選定

➤ 基本計画に掲げる未来のまちづくりに向けた戦略的視点及び

まちづくりを進める力を踏まえた事業を展開

➤ 物価高騰や風水害・地震等の災害リスクなど、喫緊の課題に的確に対応

➤ 効率的・効果的な行財政産運営を図るため、緊急性や必要性はもとより、将来を見据えたまちづくりへの成果（インパクト）も考慮し、事業を厳選

1 計画の総論-計画の推進にあたって

計画の推進にあたっては、計画事業の着実な遂行を図るとともに、以下の点に留意

1 市民、団体、企業、大学等、多様な主体との一層の連携

- 多様な主体が連携できる環境づくり、まちづくりに係る認識の共有

2 行財政改革の取組み

- 次期中期財政運営方針のほか、不断の事業見直し※をはじめとした行政運営の効率化や財政の健全性の維持を念頭に置きながら、デジタル化の推進や民間活用など時代の変化も的確に捉え各事業を推進

3 計画の進行管理及び評価

- 3年後に目指す事業量を明示し、各年度の予算時・決算時に計画の事業量ベースの進行管理を実施
- 千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を兼ねる計画であることを踏まえ、分野ごとに「ゴール(目標)」及びその到達度を測るKGIと、到達に資する要素を「構成因子」とし、KPIを設定
- 審議会においてKGI・KPI等をもとに取組状況の検証、及び計画終了後の政策評価の実施

4 計画の弾力的な運用

- 施策の検証、機動的な意思決定により、迅速かつ柔軟に必要な施策を実施

※事業見直し…社会状況等の変化を踏まえ、既存事業の必要性や効果を徹底的に検証し、事業そのものの廃止や整理・合理化、より効率的な手法への見直し等によりコスト縮減を図ることで財源を確保し、本市の将来のために今必要な投資など、本市ならではの事業を進めていく。

1 計画の総論-計画の基本的な考え方（策定の視点）

戦略的視点1 100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり

- 民間投資やイノベーションの喚起、再生可能エネルギーの活用など、脱炭素社会の実現に向けた取組み
- SDGsの達成に向けた市民等の行動変容の促進及び環境・社会・経済の三側面が調和した取組み
- 災害に強いまちづくりとして、多様な主体の連携による危機管理・防災体制の充実強化

戦略的視点2 ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり

- 「時間のゆとり」と「空間のゆとり」を最大限活かした市民生活の質的向上
- 市民一人ひとりが最適な暮らしを実感できるまちの基盤を創るためのテクノロジーの活用
- 未来を力強く担う人材の育成、東京2020大会の経験を踏まえた文化芸術・スポーツの一層の充実

戦略的視点3 世界とつながる 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくり

- 市民一人ひとりが多様性を認め合い、個性や能力を活かして活躍できる社会の実現
- 「誰一人取り残さない」セーフティネットの構築
- 東京2020大会のレガシーとしてのボランティア文化の醸成やパラスポーツの推進、外国人住民の地域社会への適応

戦略的視点4 都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化

- 圏域経済の中心としての役割を果たすため、企業立地の促進、雇用の創出、商業・観光機能の強化、農業の成長産業化などによる地域経済の活性化
- 本市の特性はもとより、房総の多彩な魅力を活かした圏域としての価値向上に向けた取組み

まちづくりを進める力を高める

- 地域活動やボランティア、支え合いの活性化に向けた新たなプラットフォームの構築
- テクノロジーの活用も含めた地域の担い手の発掘・育成、団体間の連携・発信力の強化
- 多様な主体が社会課題に主体的に取り組めるようにするための参画機会の確保、相互連携のための環境整備

2 計画の各論-分野別の計画事業数

まちづくりの総合8分野		事業数
1	環境・自然	30
2	安全・安心	31
3	健康・福祉	18
4	子ども・教育	34
5	地域社会	7
6	文化芸術・スポーツ	15
7	都市・交通	32
8	地域経済	22
	計	189

※事業数は、重複を除く。

分野目標

気候変動に対応し、豊かな自然と共生する持続可能なまちを実現します



政策 1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る

政策 2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る

主な事業

- ・ 脱炭素先行地域事業の推進
- ・ 新清掃工場周辺整備（北谷津地域活性化）
- ・ 有害鳥獣対策の推進
- ・ 家庭系プラスチック資源の分別収集・再資源化
- ・ 学校給食残渣の再資源化
- ・ 廃棄物処理施設の整備推進
- ・ 高齢者等ごみ出し支援の充実強化
- ・ 千葉公園の再整備
- ・ 身近な公園のトイレ快適化
- ・ 動物公園リスタート構想の推進
- ・ オオガハスの魅力発信
- ・ 河川を活用したまちづくり
- ・ 海辺の活性化

分野目標

災害など様々なリスクに対応し、安全・安心に暮らせるまちを実現します



政策1 災害に強いまちの基盤を整備する

政策2 多様な主体の連携による防災力を高める

政策3 消防・救急体制を充実・強化する

政策4 安全・安心な市民生活を守る

主な事業

- ・想定される最大規模の高潮に対する避難対策
- ・流域治水の推進
- ・浸水被害の軽減と対策の強化（雨水施設の整備）
- ・災害に強い道路の整備
- ・地震時における下水道機能の確保（下水道施設の耐震化）
- ・避難所の環境整備
- ・市街地復興の事前準備の推進
- ・避難行動要支援者の支援体制の強化
- ・消防団業務のDX推進
- ・海上における消防体制の充実（消防艇の更新）
- ・スクラップヤード火災等における消火戦術の構築
- ・救急業務のDX推進（ICTを活用した救急業務の推進）
- ・防火管理講習等のオンライン化
- ・駅周辺及び繁華街への防犯カメラ設置
- ・自治会等に対する防犯カメラ設置費助成
- ・繁華街客引き対策
- ・交通安全の推進 ・歩道の整備
- ・安全で安心な道路環境の整備

分野目標

みんながいきいきと、健やかに安心して暮らせるまちを実現します



政策1 健やかに暮らせる社会を創る

政策2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る

政策3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る

政策4 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる

主な事業

- ・子どものむし歯予防の推進
- ・青年期・壮年期等の健康な食習慣づくり
- ・(仮称)幕張海浜病院の整備
- ・動物愛護の推進
- ・新たな斎場の整備
- ・地域介護予防活動支援の強化
- ・認知症の人の社会参加の促進
- ・介護人材の確保・定着の支援
- ・高齢者施設の整備・修繕への助成
- ・農福連携の推進
- ・重度障害者の地域生活への支援
- ・発達障害支援の推進
- ・ひきこもり相談支援体制の充実
- ・生活困窮者への支援の充実

分野目標

夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子どもたちが育つまちを実現します



政策1 子どもを産み・育てやすい環境を創る

政策2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する

主な事業

- ・おたふくかぜ予防接種費用の助成
- ・RSウイルス母子免疫ワクチン予防接種の実施
- ・ニーズに応じた保育の受け皿の確保
- ・屋内型遊び場の整備
- ・乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の拡充
- ・子ども・若者総合相談センター（Link）の相談体制の充実
- ・小児慢性特定疾病児童等の支援
- ・新東部児童相談所及び発達に係る相談支援機関等の整備
- ・外国語教育の推進
- ・教職員の働き方改革
- ・市立学校の体育館冷暖房設備の整備
- ・学びの多様化学校の整備
- ・特別支援教育の充実
- ・部活動の地域展開
- ・こども・若者の社会参画の推進

分野目標

多様性を力に、みんなでまちづくりを進める地域社会を実現します



政策1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る

政策2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める

主な事業

- ・フェアトレードの推進
- ・女性活躍の推進
- ・困難な問題を抱える女性への支援
- ・外国人住民の地域社会への適応
- ・町内自治会業務の負担軽減の推進
- ・千城台公民館・若葉図書館再整備
- ・土気公民館・土気市民センター・土気いきいきセンターの再整備

分野目標

市民の文化芸術・スポーツ活動が広がる、創造性豊かなまちを実現します



政策1 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る

政策2 スポーツに親しむ環境を創る

主な事業

- ・ 市民会館の再整備
- ・ アートのまちづくりの推進
- ・ 千葉国際芸術祭の定期開催
- ・ 特別史跡加曽利貝塚新博物館の整備
- ・ 加曽利貝塚博物館の機能強化
- ・ パラスポーツの推進
- ・ 市民プールの更新
- ・ 国際・全国的な大規模スポーツ大会の開催・支援
- ・ アーバンスポーツの振興
- ・ アルティマーリ千葉新アリーナの整備支援

分野目標

市民の快適な暮らしと活発な交流を支える、魅力と愛着が感じられる都市を実現します



政策1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める

政策2 都市の力を底上げするネットワークを整備する

政策3 まちの発展にテクノロジーを活かす

政策4 暮らしを支える基盤を創る

主な事業

- ・千葉駅周辺の活性化推進
- ・中央公園・通町公園の連結強化
- ・幕張新都心のまちづくりの推進
- ・千葉マリンスタジアムの再構築
- ・必要な移動手段の確保に向けた取り組み
- ・広域ネットワークを構築する道路整備
- ・市内ネットワークを構築する道路整備
- ・交差点の改良
- ・自転車を活用したまちづくりの推進

- ・千葉開府900年を契機とした市民の地域への誇り・愛着の醸成と主体的なまちづくりへの基盤づくり
- ・デジタル人材育成
- ・国家戦略特区制度を活用した先端技術の推進
- ・千葉中央コミュニティセンターの再整備
- ・花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化の推進
- ・若年層の流入による住宅団地の活性化
- ・農業集落排水施設の再編整備
- ・下水道施設の再構築
- ・水道管路の整備

分野目標

地域経済を支える産業や人材が育ち、新たな価値が生まれるまちを実現します



政策1 地域の産業を支え・育てる

政策2 観光の振興とMICEの推進によりまちの魅力を高める

政策3 農林業の持続的な発展を支える

主な事業

- ・ 創業及びイノベーション創出の支援
- ・ 企業立地の促進
- ・ 就職氷河期世代をはじめとした求職者の就労・転職支援
- ・ 地方卸売市場の再整備
- ・アントレプレナーシップ教育の推進
- ・ 国内向け観光プロモーションの推進
- ・ ナイトタイムエコノミーの推進
- ・ MICE誘致へ向けた開催支援及び効果的な観光施策展開のための観光ニーズの把握
- ・ 食のブランド化の推進
- ・ 持続的な畜産業の推進
- ・ スマート農業技術等の活用に向けた農業者への支援
- ・ 未来の青年農業者の確保・育成

3 計画の進行管理

- 3年後に目指す**事業量**を明示、各年度の予算時・決算時に計画の**事業量ベース**の進行管理を行う
- まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略と統合されたことに伴い、**分野別の「ゴール(目標)」、重要目標達成指標 (KGI) ・重要業績評価指標 (KPI) を設定**
- 計画事業の進捗状況とともに、KGI、KPIの進行管理を実施

<全体のゴール>

「みんなが輝く、都市と自然が織りなす・千葉市」の実現

指標	生活満足度 (Well-being指標) 11段階評価 (0~10) のうち6以上を選択する人の割合
目標値	基本計画終了時 (2032年度末) 80%以上
現状値	74.3% (2025年)

<重要目標達成指標 (KGI) と重要業績評価指標 (KPI) >

	KGI	KPI
目的	分野目標達成のために、目標年次に実現すべき数値	KGI達成に向けた具体的な取組みの進捗状況を検証するための数値
設定単位	分野ごと	KGIごと
評価時期	原則3年ごと (政策評価) (進捗管理は毎年実施)	毎年 (進捗管理)
指標数	11指標	29指標

3 計画の進行管理

・重要目標達成指標（KGI）と重要業績評価指標（KPI）

分野	種別		指標名	単位	指標の値		出典・備考
					現況値R6（2024）末	目標値R10（2028）末	
1 環境・自然	KGI		市域の温室効果ガス排出量	t-CO ₂	1,329 R3(2021)	1,178 R7(2025)	所管課集計
	構成因子	KPI	市役所の温室効果ガス排出量削減率（2013年度比）	%	4.4 R5(2023)	41.2 R9(2027)	所管課集計
		KPI	環境の保全に取り組んでいる市民の割合	%	68.9	89.6	所管課集計
		KPI	環境の保全に取り組んでいる事業者の割合	%	56.5	85.5	所管課集計
		KGI	「暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」の肯定的回答の割合		%	28.9	50.3
	構成因子	KPI	市内の緑が豊かだと感じる人の割合	%	77.8 R3(2021)	81.7	緑と水辺のまちづくりプラン2023
		KPI	市内の水辺が魅力的だと感じる人の割合	%	48.3 R3(2021)	56.0	緑と水辺のまちづくりプラン2023
	2 安全・安心	KGI		地震や風水害等の災害など、さまざまなリスクに対応した安全・安心への備えが市内にあると感じる人の割合	%	54.3 R3(2021)	70.7
構成因子		KPI	「私の暮らしている地域では防災対策がしっかりしている」の肯定的回答の割合	%	26.5	31.0	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）
		KPI	千葉市の治安が良いと感じる人の割合	%	82.4	84.0	所管課集計

3 計画の進行管理

・重要目標達成指標（KGI）と重要業績評価指標（KPI）

分野	種別		指標名	単位	指標の値		出典・備考
					現況値R6（2024）末	目標値R10（2028）末	
3 健康・福祉	KGI		健康寿命の延伸	年	健康寿命 男性80.04 女性84.78 平均寿命 男性81.45 女性88.10 R2（2020）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	国勢調査・人口動態調査・第1号被保険者数及び要介護認定者数を基に健康寿命の算定プログラムにより算定
	構成因子	-	自身の健康状態を把握し、病気の早期発見と早期治療を行っている人が増加する。	-	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析
		-	生活習慣病の改善に向け、行動している人が増加する。	-	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析
	KPI		介護・支援を必要としない高齢者の割合（75歳以上85歳未満）	%	81.9	82.2	所管課集計

※定性的な評価となる構成因子は、その他客観指標を用いて、進捗状況を分析する。

※上記に加え、当分野（健康・福祉）の事業に関係した構成因子として、以下のものがあります。

分野	種別		指標名	単位	指標の値		出典・備考
					現況値R6（2024）末	目標値R10（2028）末	
5 〔再掲〕 地域社会	構成因子		女性・障害者・高齢者・子ども・若者が活躍している	-	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析

3 計画の進行管理

・重要目標達成指標（KGI）と重要業績評価指標（KPI）

分野	種別		指標名	単位	指標の値		出典・備考
					現況値R6（2024）末	目標値R10（2028）末	
4 子 ど も ・ 教 育	KGI		市内に安心して出産・育児ができる環境があると感じる人の割合	%	44.9 R3(2021)	64.0	千葉市まちづくりアンケート
	構成因子	KPI	保育所待機児童数	人	0	0	所管課集計
		KPI	エンゼルヘルパー利用件数	件	4,100	4,500	所管課集計
	KGI		一時保護児童一人当たりの平均在所日数	日	68.3	52.0	こどもの福祉と保健に関する状況報告
	構成因子	KPI	里親等委託率	%	32.7	52.3	こどもの福祉と保健に関する状況報告
		KPI	里親登録数	件	112	179	こどもの福祉と保健に関する状況報告

3 計画の進行管理

・重要目標達成指標（KGI）と重要業績評価指標（KPI）

分野	種別	指標名	単位	指標の値		出典・備考
				現況値R6（2024）末	目標値R10（2028）末	
4 子 ど も ・ 教 育	KGI	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小学6年生83.5 中学3年生64.2	小学6年生87.0 中学3年生71.0	全国学力・学習状況調査結果
	KPI	「授業中にPC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使っている」と答えた児童生徒の割合	%	小学6年生59.7 中学3年生65.3	小学6年生100 中学3年生100	全国学力・学習状況調査結果
	KPI	1週間の総運動時間が60分以上の割合（体育の授業は含まない）	%	小学5年生男子 91.7% 小学5年生女子 84.9% 中学2年生男子 91.6% 中学2年生女子 79.2%	小学5年生男子 94.6% 小学5年生女子 90.3% 中学2年生男子 93.3% 中学2年生女子 82.5%	全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
	KPI	中学校卒業段階でのCEFR A1（英検3級相当）以上の生徒の割合	%	50.8	65.0	千葉県英語能力測定テスト
	KPI	学力D層の児童生徒の割合が全国平均より高い教科数	教科	1	0	全国学力・学習状況調査結果（小6：国語・算数、中3：国語・数学のすべての教科）
	KPI	全国学力・学習状況調査における全国平均正答率との比較（市立小・中学校）	ポイント	小学・国語 0 小学・算数+2.0 中学・国語 0 中学・数学-1.0	小学・国語+1.0 小学・算数+1.0 中学・国語+1.0 中学・数学+1.0	全国学力・学習状況調査結果
	KPI	日本語指導を受ける子どもの読み書き・授業中の学習に関する日本語習得状況	%	集計中	集計後設定	特別の教育課程編成 実施計画・報告書
	KPI	学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒の割合	%	44.1	38.0	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（文部科学省）

3 計画の進行管理

・重要目標達成指標（KGI）と重要業績評価指標（KPI）

分野	種別		指標名	単位	指標の値		出典・備考
					現況値R6（2024）末	目標値R10（2028）末	
5 地域 社会	KGI		「私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている」の肯定的回答の割合	%	37.8	40.0	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）
	構成 因子	KPI	「地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」の肯定的回答の割合	%	21.7	24.8	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）
		-	女性・障害者・高齢者・子ども・若者が活躍している	-	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析
		-	外国人が地域社会の一員として適応している	-	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析
6 文化 芸術 ・ スポーツ	KGI		「暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」の肯定的回答の割合	%	14.9	23.1	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）
	構成 因子	KPI	市内に文化・芸術活動に親しめる環境がある人の割合	%	46.0 R3(2021)	67.6	千葉市まちづくりアンケート
		KPI	市内でスポーツを楽しめる機会があると感じる人の割合	%	51.8 R3(2021)	70.0	千葉市まちづくりアンケート

※定性的な評価となる構成因子は、その他客観指標を用いて、進捗状況を分析する。

3 計画の進行管理

・重要目標達成指標（KGI）と重要業績評価指標（KPI）

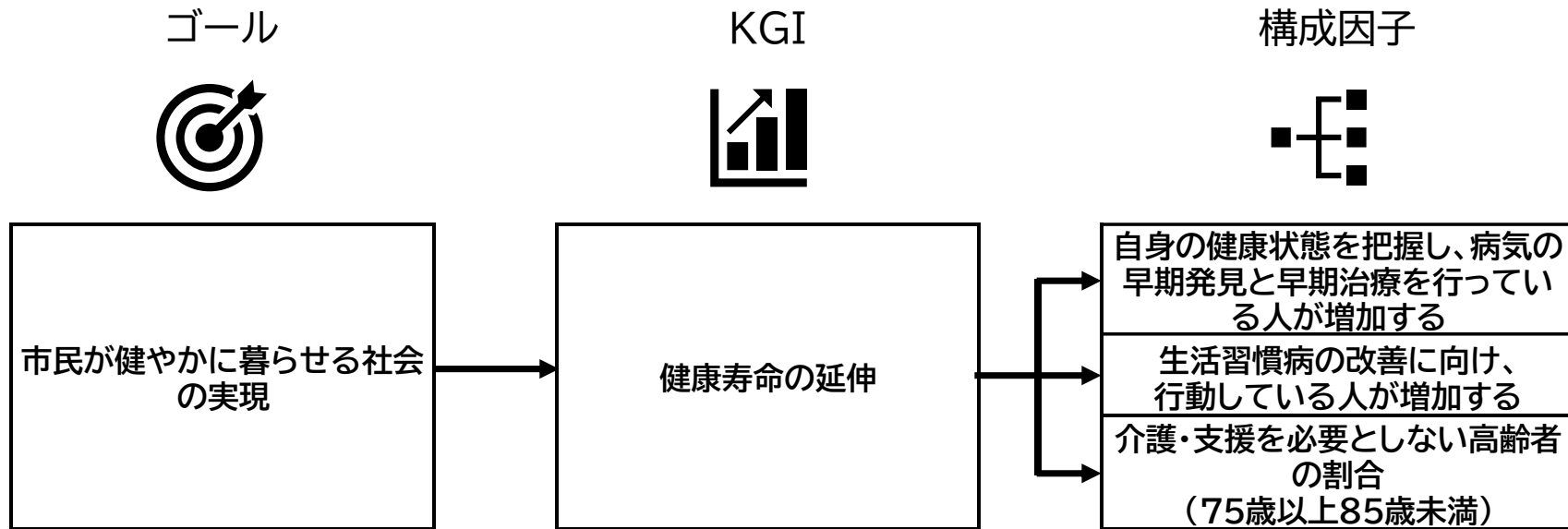
分野	種別	指標名	単位	指標の値		出典・備考	
				現況値R6（2024）末	目標値R10（2028）末		
7 都市・ 交通	KGI	「暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」の肯定的回答の割合	%	58.1	61.7	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）	
	構成 因子	KPI	「私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」の肯定的回答の割合	%	55.7	63.8	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）
		KPI	「私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる」の肯定的回答の割合	%	21.9	29.8	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）
		KPI	「公共交通等の満足度」の肯定的回答の割合	%	57.5	59.5	所管課集計
		KPI	特定空家等の件数	件	54	34	所管課集計
8 地域 経済	KGI	市民一人当たりの総生産額（名目）	千円	4,344 R2(2020)	4,488 R7(2025)	市民経済計算及び各年4月付の推計人口	
	構成 因子	KPI	平均課税対象所得（1人当たりの課税所得額）	千円	4,289	4,987	市町村税課税状況等の調（市町村別内訳）（総務省）
		-	企業が安定的な経営を行っている	-	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析
		KPI	市内従業者数	人	413,696 R2(2020)	419,074 R7(2025)	経済センサス
		-	市内観光による消費が拡大する	-	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析
KPI	市内農業産出額	億円	90.4 R5(2023)	93.1 R9(2027)	農林水産省市町村別農業産出額（推計）		

※定性的な評価となる構成因子は、その他客観指標を用いて、進捗状況を分析する。

各分野における重要目標達成指標（KGI）と重要業績評価指標（KPI）の設定（イメージ）

分野3 健康・福祉

分野目標：みんながいきいきと、健やかに安心して暮らせるまちを実現します



「ゴール(目標)」・・・基本計画の8分野ごとの分野目標に設定
「KGI」・・・「ゴール(目標)」に対する到達度を測るための指標
「構成因子」・・・設定した「ゴール(目標)」の到達に資する要素。KPIを設定。